様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	聖路加国際大学
設置者名	学校法人聖路加国際大学

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
看護学部	看護学科	夜・通信	284	284	223	284	13	
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
（備考）								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://university.luke.ac.jp/college_of_nursing/vm3iph00000005a8-att/faculty_with_practical_experience2020.pdf

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	聖路加国際大学
設置者名	学校法人聖路加国際大学

１．理事（役員）名簿の公表方法

http://www.luke.ac.jp/about/disclosure_member.html

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	株式会社元役員	2018 年 4 月 1 日 ～ 2022 年 3 月 31 日	法人の管理運営・業務遂行を監督する
非常勤	私立大学元学長	2018 年 4 月 1 日 ～ 2022 年 3 月 31 日	法人の管理運営・業務遂行を監督する
（備考） 学外者である理事は他５名			

様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	聖路加国際大学
設置者名	学校法人聖路加国際大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 全授業科目において授業計画（シラバス）を作成し公表している。シラバスの作成に当たっては教員と職員からなるシラバス検討ワーキンググループを設け、各科目責任者が作成したシラバスの内容をシラバス検討ワーキンググループの構成員が確認している。具体的には、授業の方法・内容、到達目標、評価の方法と基準、教育目標との関連など、本学で記載を求めている内容が適切に記載されているかを確認するとともに、修正が必要と判断されたシラバスについては、科目責任者にコメントを添えて差し戻し、記載内容の修正を依頼している。 作成したシラバスについては、学生には専用の履修システムで履修登録前（前年度３月下旬）に公開するとともに、同時期に大学ホームページで検索可能な形式にて広く一般にも公表している。

授業計画書の公表方法	http://university.luke.ac.jp/college_of_nursing/syllabus.html

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 学修成果の厳格かつ適正な評価については、予め授業計画書（シラバス）に科目毎の評価方法を公表した上で行っている。具体的には、評価の項目、方法及び各科目の成績において各項目のウェイト等を予め示していること、また科目評価と評点、及びGP 等の算出・換算方法について学生便覧で予め学生に示しているほか、教授会において単位の認定を行う際、科目ごとの平均素点を公表し、担当教員毎の評価のばらつき等を確認し、抑止することで客観性を担保している。 上記のほか、学修成果の厳格かつ適正な評価の一環として、出席要件を講義科目は2/3 以上、実習科目は 4/5 以上とすることにより、授業に出席しない学生に単位を与えることが無いよう厳格に確認している。 また学修意欲の乏しい学生への対策の一環として年間の履修上限を 45 単位とし、意欲のない学生が過剰に履修することを抑止している。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 科目責任の教員は、シラバスに記載した通りの基準により 100 点満点の素点で評価を決定し、事前に定めた基準で GP に換算している。 2017 年度以降入学生の GPA 算出は、合格・不合格のみで評価される科目を除く全ての科目の成績が対象である。再履修した科目は、どちらの成績も成績評価点の計算に含める。分母は履修した延べ単位数となる。なお、放棄となった場合は計算式に基づき GPA が減少する。 GPA の算出方法については、大学ホームページにて公開している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	http://university.luke.ac.jp/college_of_nursing/vm3iph000000005a8-att/GPA_2020.pdf
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 卒業判定の教授会において、各学生が卒業要件としての単位数（124 単位）と GPA（1.75 以上）を満たしていることを確認している。 また、ディプロマポリシーとして以下を定め、大学ホームページにて公開している。 ・キリスト教の愛の精神に基づき、あらゆる対象者を理解し援助関係を形成する能力 ・保健医療福祉においてリーダーシップを発揮し、協働する能力 ・物事を深く探究する能力 ・根拠に基づきあらゆる対象に最適な看護を実践する能力 ・専門職として倫理的な態度を身につけ研鑽し続ける能力 ・グローバルな視点を持ち、健康課題を捉える能力 ・看護の対象に最適な看護を提供することを目指し、看護実践の改善に関与する能力	
卒業の認定に関する方針の公表方法	http://university.luke.ac.jp/college_of_nursing/policy/diploma_policy.html

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	聖路加国際大学
設置者名	学校法人聖路加国際大学

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.luke.ac.jp/about/pdf/2019_1_balance_sheet.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://www.luke.ac.jp/about/pdf/2019_2_revenue_account.pdf
財産目録	http://www.luke.ac.jp/about/pdf/2019_3_property_inventory.pdf
事業報告書	http://www.luke.ac.jp/about/pdf/2019annualreport.pdf
監事による監査報告（書）	http://www.luke.ac.jp/about/pdf/2019_4_audit_report.pdf

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：2020 年度事業計画書　　対象年度：2020 年度　）
公表方法：http://www.luke.ac.jp/about/pdf/2020plan.pdf
中長期計画（名称：中期ビジョン 2025　　対象年度：2020 年度　）
公表方法：http://www.luke.ac.jp/about/pdf/stlukesvision2025.pdf

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：http://university.luke.ac.jp/about/jgl9rh00000019zn-att/JUAAreport.pdf

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法:http://university.luke.ac.jp/about/jgl9rh00000019zn-att/jgl9rh0000001afy.pdf

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　看護学部
教育研究上の目的（公表方法： http://university.luke.ac.jp/about/vm3iph00000002d6-att/1-1.pdf
（概要） 看護に関する科学的知識を培い、技能の熟達と人格の涵養につとめ、指導者としての能力をたかめ、看護の実践と応用によって看護および看護教育の進歩発展に寄与することのできる人材の育成を目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法： http://university.luke.ac.jp/college_of_nursing/policy/diploma_policy.html）
（概要） 教育目標に到達するために計画されたカリキュラムによって学修し、定められた単位を取得し、卒業したものに学士の学位を授与する。教育目標に基づく各科目の目標達成を学生と教員が確認しつつ、最終学年に計画されている看護研究Ⅱまたは総合実習（選択必修科目）の学習過程と成果において、教育目標への達成を確認する。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： http://university.luke.ac.jp/college_of_nursing/policy/curriculum_policy.html）
（概要） 1. 教養科目、基礎科目、専門科目の 3 科目群からカリキュラムを構成する。 2. 教養科目では、広く人間を見る視点を養うことを主眼とし、建学の精神であるキリスト教について学び、かつグローバルな人材育成のための英語力の強化を図る。 3. 看護を「人間と環境との相互作用により、最適な健康状態を生み出すことをめざす働き」と考え、人間、環境、健康・看護の 4 概念とそれらの関係に基づき、基礎科目から専門科目を積み上げて学修できるよう配置する。看護の基本姿勢の中心概念は People-Centered Care とする。 4. 実践の場に即した学びのために、アクティブラーニングを基本とした多様な学習機会を提供する。 5. 各科目では学習者の主体的な学びを推進し、知識・態度・技術を総合的に評価する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： http://university.luke.ac.jp/college_of_nursing/policy/admission_policy.html）
（概要） 大学の理念および教育目標に賛同し、その一翼を担おうとする意欲ある人材を受け入れる。受け入れに当たっては、国籍・宗教・障がい等を問わず、最大限妥当かつ公平な方法によって選抜する。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：http://university.luke.ac.jp/about/disclosure.html

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	1 人	－					1 人
看護学研究科	－	19 人	17 人	人	29 人	人	65 人
公衆衛生学研究科	－	6 人	5 人	5 人	人	人	16 人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
人	人	人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：http://university.luke.ac.jp/faculty_and_research/index.html

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

FD・SD 委員会を組織し、研修会を企画・運営、新任教員のサポートを行っている。

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
看護学部	100 人	100 人	100%	435 人	448 人	103%	30 人	30 人
看護学研究科	70 人	72 人	103%	160 人	205 人	128%	—人	—人
公衆衛生学研究科	28 人	33 人	118%	53 人	63 人	119%	—人	—人
合計	198 人	205 人	104%	648 人	716 人	110%	30 人	30 人

（備考）

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
看護学部	116 人 (100%)	18 人 (16%)	91 人 (78%)	7 人 (6%)
看護学研究科	65 人 (100%)	5 人 (8%)	53 人 (82%)	7 人 (10%)
公衆衛生学研究科	24 人 (100%)	5 人 (21%)	17 人 (71%)	2 人 (8%)
合計	205 人 (100%)	28 人 (14%)	161 人 (78%)	16 人 (8%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）聖路加国際病院

（備考）

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
看護学部	84 人 (100%)	82 人 (98%)	1 人 (1%)	1 人 (1%)	0 人 (0%)
看護学研究科	55 人 (100%)	43 人 (78%)	12 人 (22%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
公衆衛生学研究科	29 人 (100%)	26 人 (90%)	2 人 (7%)	1 人 (3%)	0 人 (0%)
合計	168 人 (100%)	151 人 (90%)	15 人 (9%)	2 人 (1%)	0 人 (0%)
（備考）看護学部の留年理由は「健康上の理由」退学理由は「進路変更」。看護学研究科の留年理由は「出産・育児」「研究継続」等。公衆衛生学研究科の留年及び退学理由は「職務の都合によるもの」公衆衛生学研究科の入学者数はコースの違いにより過年度分を含む。					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
全授業科目において授業計画(シラバス)を作成し公表している。シラバスの作成に当たっては教員と職員からなるシラバス検討ワーキンググループを設け、各科目責任者が作成したシラバスの内容をシラバス検討ワーキンググループの構成員が確認している。具体的には、授業の方法・内容、到達目標、評価の方法と基準、教育目標との関連など、本学で記載を求めている内容が適切に記載されているかを確認するとともに、修正が必要と判断されたシラバスについては、科目責任者にコメントを添えて差し戻し、記載内容の修正を依頼している。
　作成したシラバスについては、学生には専用の履修システムで履修登録前(前年度 3 月下旬)に公開するとともに、同時期に大学ホームページで検索可能な形式にて広く一般にも公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
出席要件を講義科目は 2/3 以上、実習科目は 4/5 以上とすることにより、授業に出席しない学生に単位を与えることが無いよう厳格に確認している。卒業の判定にあたっては、卒業判定の教授会において、各学生が卒業要件としての単位数(124 単位)と GPA (1.75 以上)を満たしていることを確認している。

学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
看護学部	看護学部	124 単位	有	45 単位（年間）
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：http://university.luke.ac.jp/about/vm3iph00000002d6-att/1-8_facilities.pdf

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
看護学部	看護学科	1,120,000 円	200,000 円	430,000 円	
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組
（概要）アドバイザー制度を導入している。１グループ 10 名程度の学生に対し正・副 2 名のアドバイザーが担当し、Web システム上の学生カルテで情報の管理と共有をしている。アドバイザー委員会が組織され、月に 1 回の委員会を開催してアドバイザー間の調整や情報共有、必要事項があれば検討を行っている。また、「アドバイザー制度の手引き」を作成し教員へのガイダンスを実施している。 学生にはアンケートを実施し満足度の調査を実施し毎年改善を試みている。
b.進路選択に係る支援に関する取組
（概要）国家試験対策を含む就職・進学・国試ガイダンスを 3 年次から 4 年次にかけて 5 回～6 回実施している。また、学内 Web 上に就職・進学のバナーを配置し情報を配信しているほか、本学独自の「就職・進学ガイドブック」を作成し公開している。学生ラウンジと同じ階に就職・進学関係の資料の閲覧ができる室を常設している。
c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要）学内に健康管理室を常設し、専任保健師 1 名、非常勤 1 名が配置されている。健康管理室では専任保健師による健康相談のほか、心の悩みや問題については無料で専門のカウンセラーに相談することができる。学内 Web で相談日の確認と予約が可能。また、同法人内の聖路加国際病院受診については、手続きや適切な診療科の選択に応じている。同病院の心療内科部長が校医を兼任しており、必要に応じて面談・診療を行っている。また、感染症内科・ワクチン外来や感染管理室と連携し、学生の感染管理面での充実も図っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：http://university.luke.ac.jp/about/disclosure.html